

みずほCustomer Desk Report 2016/08/19号(As of 2016/08/18)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	99.93	1.1299	112.90	0.9614	1.3043	0.7661
SYD-NY High	100.51	1.1366	113.70	0.9622	1.3173	0.7723
SYD-NY Low	99.65	1.1288	112.65	0.9538	1.3039	0.7649
NY 5:00 PM	99.88	1.1355	113.44	0.9545	1.3166	0.7686
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.92/11.37		△25RR	1.993	Yen Call Over	

	日本2年債	日本10年債	米国2年債	米国5年債	米国10年債	独10年債	英10年債	豪10年債
債券市場	-0.1950	▲1.2bp	0.7014	▲2.3bp	1.5356	▲1.4bp	0.5500	▲1.3bp
	▲0.9bp	▲1.2bp	▲2.4bp	▲2.3bp	▲3.2bp	▲3.2bp	▲1.3bp	▲3.7bp

	USD/CNH	ドルインデックス	CRB指数	NY金	WTI	Dubai Spot
為替市況	6.6339	▲0.0014	189.339	1,357,200	48.220	47.07
商品市況	▲0.55	▲0.0014	2.44	8.40	1.43	1.09

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月18日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	08:50	日 貿易収支	7月 ¥513.5B	¥273.2B
	10:30	日 雇用者数変化/失業率	7月 26.2K/5.7%	10.0K/5.8%
	17:00	欧 経常収支(季調前/季調後)	6月 €37.6B/€28.2B	-/-
	17:30	英 小売売上高(除く燃料、前月比/前年比)	7月 1.5%/5.4%	0.3%/3.9%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)	7月 -0.6%/0.2%	-0.5%/0.2%
	18:00	欧 コアCPI(前年比)	7月 0.9%	0.9%
	20:30	欧 ECB理事会議事要旨(7月会合分)	-	-
	21:30	米 新規失業保険申請件数	-	262K 265K
	21:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	8月 2.0	2.0
	23:00	米 ダドリー・NY連銀総裁講演	-	-
	23:00	米 先行指数	7月 0.4%	0.3%
8月19日	05:00	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-

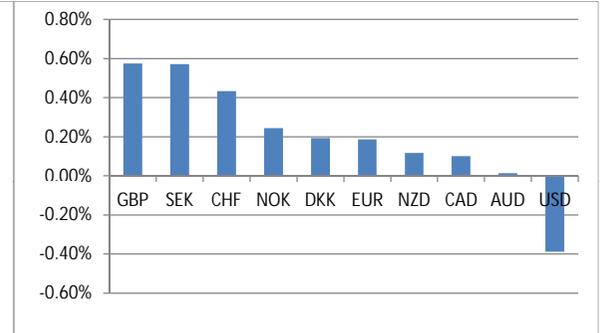
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月19日	09:00	米 カプラン・ダラス連銀総裁 講演	-	-
	13:30	日 全産業活動指数(前月比)	6月 0.9%	-1.0%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	7月 0.1%/-2.1%	0.4%/-2.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



東京	<p>シブニ時間朝方100円台前半で推移していたドル円相場は、目立った材料がない中、100.00を割り込むとストップロスオーダーを巻き込みながら99.67まで下落。但し、本邦当局者による円高けん制発言への警戒感も燃る中、一旦は99円台後半まで戻す。東京時間オープン直前に発表された本邦7月貿易収支は5,135億円の赤字と、予想(2,732億円の赤字)を上回る赤字額となったものの、相場への影響は限定的。斯かる中、ドル円は99.93レベルで東京時間オープン。朝方は、安寄りした日経平均株価が下落幅を拡大する中、ドル円は軟調な動きとなり、安値99.65をつける。その後、浅川財務官が「(為替市場で)過度な動きがあれば、きちと対応する」との発言が伝わったことに加え、「財務省・金融庁・日銀の3者が(東京時間18日)午後1時50分から情報交換会を開催」と報じられるとドル円は100円台を回復。午後に入って再び99円台後半まで弱含んでいたものの、本・前内閣官房参与が「日本銀行は来月、大胆な行動をとる可能性が高い」と発言したインパクトが報じらると100.35まで上昇。上記3者会合後、浅川財務官は「絶えず注視し、投機的な動きがあれば必要な対応をきっちり取る」と投機筋の動きをけん制する発言を行うも、相場の大きな動因とはならなかった。引けにかけては日経平均株価が軟調推移する中、ドル円は99円台後半まで連れ安となり、結局99.89レベルで海外に渡った。(東京15:30)</p>
ロンドン	<p>ロンドン市場ドル円は99.89レベルでオープン。東京時間の浅川財務官の発言が相場をサポート。また、英7月小売売上高が前年比+5.4%と予想(同+3.9%)を上回る結果となり、ポンド円が買われたことに連れてドル円も上昇。ドル円は100円台を回復し、高値100.51をつけた後、100.28レベルにてNYへ渡った。ポンドドルは1.3063レベルでオープン。英7月小売売上高が、前月比+1.5%、前年比+5.4%、と予想を上回る結果となったことで、1.3173まで急伸。7月の英国は好天候な日が多く、衣料品の売上が好調となった他、Brexitの影響でポンド安が続く中、海外からの観光客による買い物意欲が高まったことが背景にある模様だ。その後は1.31台前半での小幅なレンジ推移となり、1.3149レベルにてNYへ渡った。(ロンドン17:00)</p>
ニューヨーク	<p>ドル円は100.28レベルでNYオープン。朝方発表された米7月先行指数は予想範囲内の結果であったことから市場への影響は限定的。次回利上げについて、前日に発表されたFOMC議事録では手がかりが無かったことで年内利上げ観測が後退する中、米長期金利が低下。また、堅調に寄り付いた米株式市場がマイナス圏に転じたこともドル円の上値を抑える要因となり、99.85まで下落。WTI原油先物が48ドル台を回復したこともありこのレベルでは下げ渋ったものの、新規ドル買い材料を欠く中99.90付近での推移が続く。結局99.88レベルで海外市場に渡った。一方ユーロドルは、1.1322レベルでNYオープン。前日に発表されたFOMC議事録を踏まえ米利上げ観測が後退してドル売り地合いの中、堅調な推移となり、一時1.1366まで上昇。しかし一段と積極的のユーロを買っていく動きは見られず、1.1355レベルで海外市場に渡った。</p>

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	99.50-101.00	1.1250-1.1400	113.00-114.00

【マーケットインプレッション】

昨日の海外市場は、ドル売り地合で99円台を示現したドル円も財務省・日銀・政府による緊急会合後の浅川財務官の円高けん制発言もあり、100円台を回復。米新規失業保険申請件数・フィラデルフィア連銀景況指数はほぼ予想通りで反応薄も、米金利が年内利上げ観測後退で低下、堅調に寄り付いた米株式市場もマイナス圏に転じたことで、100.00を割り込み99円台後半まで下落した。本日は、ドル円の上値は重いものの、米重要経済指標もないことから、終始ドル売り地合だった市場も週末を控えてポジション調整が入ると考えられ、ドル円の下落は限定的と予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。